

河田 : 自主規制ってして、生徒たち自身で考えてほしいんかなって思ったから、校則じゃなくて、自主規制にしたんかなって思った。

寺田 : 先生に注意されたら、「自主規制やのに。」ってなると思う。注意するんやったら、校則にするべき。

松岡 : 私は、髪の毛染めること自体はしていいと思うけど、自主規制で決められているのに破るのが普通になるのはアカンなって思います。でも、今からきちんと規制していくっていうのも、生徒から反発が起こるやろうし。だから、**自主規制を改めるべき**やと思う。最後の改正が1992年って古いと思うし。中身変えやんで、年度を新しくするだけでもみんなの意識を変えるきっかけになると思うし。

二神 : ファッションは自分の個性を表現する手段の一つですが、校則や規則は、その個性を少なからず抑圧してしまうというデメリットがあります。

でも視点を変えて見ると、自分たちを守っているともとれます。例えば、金髪でへそにピアスをあけた人がいるとします。その人の中身がすごく優しくて、外見のせいで近寄りづらい、怖い、という見方をされてしまうことがあります。でももし制服を着ていたらそんなふうには、マイナスに見られることも少しは減るし、**協調性や仲間意識を増やす**というメリットもあります。このように校則や制服には視点によってメリットとデメリットの両方が存在します。このメリ

ットとデメリットの両方を知った上で、**場所、時、場合により、**

どのような服装をすればよいかを、自分で考える

ことが、本当の自主規制なのではないか、と私は思います。

金沢 : 私は正直、服もおしゃれも大好きで、制服の変形とかも全然ありやと思う。

でも、高校って服とかをどうしようとする前に、色んなことができる場やと思います。私は、執行部やっててすごいやりがいを感じたから、2年になってもやりたいと思ってるし、もっと他にもやりたいことがいっぱいありすぎて、服とかを考える余裕とかは今の自分にはないって気づきました。この自主規制は、「こんなんするよりもっとやることあるでしょ」って言ってると思います。自主規制って学校を楽しむためにあると思う。もし、高校生活で自主規制で決められてい

ることをしたいなら、先生に信頼されて自主規制を変えられるくらいに、**すごい高校生**

になったらいいと思う。

末廣 : 化粧とかって、文化祭とかなんかの行事ごとの時ってみんなしたいやん。だから、アカン時とい

い時と区別してほしい。たとえば「文化祭はOK」とか、「〇〇式の時はアカン」とか。**けじ**

めをつけてやったらいいと思います。ちゃんとするときにする、しないときはしない。

格清 : 自主規制は必要だと思います。**あった方が学校を楽しめる**気がする。自主規制は校則より「縛られてる」ってかんじがしないかなって。

金田 : 自主規制はあってもなくてもいいけど、結構破ってるのが多い中で無くすのはアカンと思うし、改めるのも**全員が守った上で改めない**とアカンと思う。

私たちが守ったら、新入生も守ると思うし。

大久保 : スカートでも、ほんとは長すぎるのもアカンはずやのに、あんまり言われへんのって矛盾してると思う。

あと部活で決まりごととかあるやん。「部活の決まり」と「自主規制」で違いがあるのって、どうなんかなって。

松本 : 今宮受けた理由が「磨け知性、輝け個性」やねん。見た目で個性も出るし、部活とか進路とかも全部がその人の個性やと思うねん。昔の自主規制って、見た目ばかりやから、**中身の個**

性を、輝け個性って言ってるんかなって思いました。

山本 : 自主規制があるのは、「**今高生ならできる**」って先生らが思ってるからやったら、うちらも守らなって思う。でも、できひんねやったら校則にしたらいいと思う。髪染めるのとか大人になったらできることやし、そのままにしとくのも今しかできやんから、今やるべきことやと思う。

こんなふうには、私たちひまわり委員の中でも考え方は様々です。これが全校生徒となると、一つの意見にまとめるなんて到底できないと思います。でも、少し考えてみるだけでも意味があると思うし、みんなの意識が変わると思います。そうしていくことで、私たちの高校生活がより過ごしやすく、より楽しいものになるのではないのでしょうか。

みなさんも、この機会に一度考えてみてください。

ひまわり委員一同